

各派代表者会議会議録

日時：平成26年8月1日(金)

午後1時30分～午後3時02分

場所：議会会議室

出席者

伊東 英議長、山本半治副議長
創政会 榊原伸行議員、至誠会 新美保博議員、
志民ネット 小出義一議員、公明党 山田清一議員、
日本共産党 松本如美議員、
事務局長 竹内健、議事課長 山本兼弘、主事 堤友香

協議題1 政務活動費について

○伊東 英議長

政務活動費については平成24年11月12日の各派代表者会議にて、政務活動費を協議していくことを決定しています。その後平成25年10月16日までに延べ11回の各派代表者会議で協議をしました。平成25年3月議会終了後の議会報告会で市民に説明し、その後まだ結論は出ていません。これまでの協議の中でも、政務活動費の要、不要が明確にされていないことから、事前にお配りした検討要望事項にも載せていますが、今後の協議の仕方として、まず政務活動費が必要かどうかを協議したいと思います。不要ならば協議は終了し、必要となれば支給開始の時期について協議したい。金額についてはこれまでの協議の中で、1人年額198,000円となっており、支給先を議会、会派、個人のいずれにするかは協議事項でした。平成27年度に政務活動費の支給をすることが決定し、予算要望する場合には10月24日が締め切りとなりますので、来年度対応を9月26日の議会運営委員会に提案しなければなりません。前回検討要望事項としてお渡しした資料に沿って進めます。

○松本如美日本共産党代表

一般的な必要性は理解できますが、昨今の政務活動費の使い方について報道されている状況を見るに、2年前の議論では改選期に復活させるという話もありましたが、今の状況ではとても困難と言わざるを得ません。愛知県下、名古屋市会も含め、全国的な不祥事や不正使用の報道が多いですから、半田市には関係ないというものの、地方議員ということで市民は見ていますので、2年前よりもハードルは高くなったと言わざるを得ないと思います。

もう1点、今市民の暮らし向きですが、生活保護、年金の切り下げ、増税や介護保険料等の引き上げなどが予定されている状況を見たときに、議会で研究活動費を復活させる状況にはないと思います。

これ以上の議論は難しいというのが会派の結論です。

○小出義一志民ネット代表

必要だと思います。日本共産党の言われる昨今の報道を見ながら、不信感のある中で、それを抑えられる中身のものを作らなければならない点で考えると、ハードルは高くなっていると思いますので、来年度に間に合わせるように準備をしていくことは難しいと思います。改選後、状況をみて考えていくのが適切だと考えています。

○伊東 英議長

今年度の議論は止めて、改選後に議論をするということですね。

○小出義一志民ネット代表

はい。

○山田清一公明党代表

政務活動費は必要性を感じています。先ほどからも言われています政務活動費の使い方は報道等ありますが、使用の適正化、透明化がなされていないという意見です。逆にそういう点をきちんと行い、政務活動費で議員の専門性や議員力の向上を図ることは、市民に還元できる形になればいいと思います。このタイミングでどうか、ということについては考える必要がありますが、希望としては来年度から復活できる形が一番いいと思います。

○伊東 英議長

政務活動費について議論をしていくことには賛成ではあるが、来年度から復活という、今年度予算要望をする必要があります。この状況でその議論を進めることができるのか。予算要望を出すということは決定をして、来年から実施ということになりますが、市民の理解が得られれば私もそうしたいと思いますが、日本共産党、志民ネットの意見では、今議論をしても来年実施するのは難しいという意見ですが、どうですか。

○山田清一公明党代表

それは踏まえた上です。

○榊原伸行創政会代表

今期中に制度設計だけを現役議員の責任において行い、2年後から実施をするという結論です。会派では様々な意見があり、時期的には穏やかでないという認識でしたが、きちんとして規定や、禁止事項はしっかり議論をすべきだと思います。

○伊東 英議長

制度設計ということになりますと、今年度予算要望はせずに、政務活動費の使用の範囲等を決めて、来年度に申し送りをして、来年度改選後の議員のみなさんが、協議して予算要望して、次の年からということですか。

○榊原伸行創政会代表

はい。

○新美保博至誠会代表

創政会の2年後実施の意味がよくわかりません。なぜ改選後にやることを今の人がやるのか。考え方なのかもしれないが、2年後に実施するならお任せしておけばいいと思う。要は政務活動費が必要かどうか。必要ならば状況ではない。状況をみて、と言うならばいつだったらいいいのか。そういう問題ではない。半田市議会として必要ならどんな状況でも要望すればいいと思う。ただ、半田市議会は政務活動費を廃止して8年やってきた。だから、基本的にはなくてもやれると思います。来年改選期に考えるということなら、また同じことになる。

選挙で争点にしてやった方がいいと思う。政務活動費は必要だが、来期はやらない、なら話はなし。政務活動費が必要だから来年の1年目から政務活動費を要求します、ということを経験表明しないと無責任だと思う。

本当に必要なら、来年から実施。どういう風にやれば透明性が確保できるのか。金額をいくりにするのかと言うのは後の手続きや金額は考えればいいと思う。3月議会通るかどうかは別として、予算要求しました、という態度で次の選挙に臨むのか。半田市は必要ない、という態度にするのか。一番いけないの

は、欲しいけど今はタイミングが良くないからやらない、と言ってみんながいいといったら賛同しようという態度だ。22人がこの態度をとるのは止めようと決めた方がいいと思う。

○伊東 英議長

暫く休憩します。

午後 1 時50分 休憩

午後 2 時08分 再開

○伊東 英議長

政務活動費については必要という認識をみなさんがもっているということですか。日本共産党の立ち位置も含め、代表者のみなさんが必要性はあると考えている。ただし、今の市民感情や状況を考えると決定することはできない、と言うことで、協議は継続して行っていくが、今年の予算要望はしないとして、市民の理解が得られる状況や、来期の議員の方が実施できると判断した時には再開して復活することもあるかもしれませんが、それでよろしいでしょうか。

○新美保博至誠会代表

まだまだ必要性が十分に理解されていないことが一つ、それと手だてがあるにも関わらずやってないことがある。現実困っていることとして流用の問題がある。例えば講師を呼ぶとして予算を計上する。予算科目の見直しなどしてやるべきだと思う。そうしていった万策尽きたときが、機が熟した時になるのではないか。これは代表者会議での協議ではないと思うので議会運営委員会で協議してもらって、対策をしていったその後初めて政務活動費を考えればいいと思う。

○松本如美日本共産党代表

最初、研修費をだして、今回6回の勉強会で予算計上しています。これももう少し具体的に早めに考えると、行政と同じように明確に勉強会費として請求できますので、来期は早め早めに見越して予算要求した方が理解を得られると思います。政務活動費として議員に支給するものでなく、議会の勉強会として、今のざっくりとした使用を具体化した方が理解を得られやすいだろうと思います。

○伊東 英議長

先ほど至誠会からもありましたように、いろいろな手だてを考えて実施してから、考えたいと思います。

また、先ほど議会の議員勉強会のことで昨年度2回実施していたものを6回としています。その予算計上の段階で講師料25,000円、に旅費をプラスしています。例えば来年度に向けて予算計上をする場合にはその時に、意思表示をして、議員全体でレベルアップしていければと思います。その辺りを議運で協議してもらうことが、一番解決が早いと思います。政務活動費を復活させることは厳しいので、切り替えていきたいと思います。

○山田清一公明党代表

議員の資質向上、レベルアップについては政務活動費だけでなく、議員勉強会は非常に有益だと思いますので、ここを充実させていく流れにしていきたいと思います。

○松本如美日本共産党代表

議員勉強会の関係は、今の研修費は年度が替わってからどうしようかと決めていますので、今の状況を見たときに、今から来年のことを考えて予算計上

した方が、市民や当局との関係から言っても、執行する場合もはっきりすると思います。結局は委員が変わってからテーマを決めて、あれが足りない、これが足りないと言って流用をしているけれど、流用を前提にしているようではないので、早めに企画書を前年度に作ったほうが責任上はいいと思います。

○伊東 英議長

暫く休憩します。

午後 2 時 20 分 休憩

午後 2 時 28 分 再開

○伊東 英議長

再開します。政務活動費については、協議は続けていくということでよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○伊東 英議長

全体の勉強会につきましてもいろんな案があると思いますので、議運で諮っていただいて来年度の方向性をまた揉んでもらいたいと思います。

協議題 2 議員等の任期について

○伊東 英議長

続きまして議員等の任期について、です。これについては平成25年12月26日の時点で至誠会、真政会、創政会は改選後新議員にて協議する。志民ネットは何もしない。公明党が今年実施。共産党は今年度協議して改選後から実施となっています。

暫く休憩します。

午後 2 時 30 分 休憩

午後 2 時 31 分 再開

○伊東 英議長

会議を再開します。

平成25年12月26日の資料では、各派の意見がこのようになっていましたが、今日はこれを踏まえ、議長等の任期についてご意見をいただきたい。

○松本如美日本共産党代表

おそらく前は議長、副議長、監査委員については2年で新年度から適用。議運、常任、その他正副委員長は1年という2本立ての意見だったと思います。

理由は議長等3役の外向けで、議運、常任等は中で決められる話だと思います。例えば常任委員会でどの委員になるかは、会派で決められますので、2年3年と決めてもずっと継続して何年もやる委員もいる。それに伴い委員長も再任があり得る話です。

それに対して議長、副議長、監査委員は他市町も2年が一般的になっていて、本当は4年ですが、とりあえずこれを機に議論をして来期から変えたらどうかと思います。

○小出義一志民ネット代表

議論の趣旨がよく呑み込めていない部分もあったかもしれませんが、現状のままでもいいかと考えていました。みなさんの意見を聞きながら理解を深めていく必要があると思いますので、柔軟に対応していきたいと思います。

○山田清一公明党代表

共産党と同じ意見です。3役を2年、その他は1年という2本立てです。

○榊原伸行創政会代表

私どもは改選後の新議員に任せ、今年は協議をしないという意見です。

○新美保博至誠会代表

今年協議する必要はないと思うので、改選後でいいと思います。

考え方として議長を4年と言うとマンネリ化もあると思うし、おごりがでてる。2年でもそれはあると思う。これは危険な話であってやる必要はないと思う。他市が2年でやっているからと言って半田市が合わせる必要はない。半田市議会だけでも1年制は守ったほうがいいと思う。

なぜ1年制がいいかと言えば今2期生何人いますか。その人たちもいずれ議長、副議長、監査をやることになる。2年制になれば2人しかできない。1年制なら4人なれる。議長は大した話ではない。挨拶要員だ。と言っていた人たちが議長をやると、2年やると言い出したのが、この議論です。今まで通りでいいと思います。どなたが議長、副議長、監査委員をやっていただいてもいい。そうかと言って、1期の人がやることはないと思いますが、分別のある方が手を挙げてやっていただければいい。再任は可能だと思います。始めから2年と決めてしまうのは2人しかできない。それを決めてしまう必要があるのかと思います。

○松本如美日本共産党

理屈としてはわかります。ただ、市長の名前はみんなが知っていても、議長のことはみんな知らない。これが市民の流れです。自治法の2元代表制の役割の中で、議長ばかりがすぐに代わってしまうと議長職の重みが市民に理解してもらえない。そこが結局当局と比べたときに、軽視されてしまう部分もあるかと思う。一定の影響力を持たせようと思うと、なった議長にがんばってもらわなければならないが、そういうことに移行してもいいと思います。

創政会からは改選後の協議といいます。この協議は来年協議すると最初の2年は1年制になってしまう。とするならば、3役は2年制にしてもいいと思います。

もう1つは他市町が2年制だから、という訳ではなく、中部広域組合議会などの、外の会議でも半田市だけまがころころ変わっているということになっている。そう意味でも2年制がいいと思うし、やるなら今だと思います。

○伊東 英議長

改選後協議するということになりますと、中途半端になります。各会派の意見がまとまらないということになると、協議はこのまま続けていきますが、とりあえずは、現状のままということになります。よろしくお願いします。

協議題3 その他

○竹内事務局長

新庁舎の図面が資料としてお配りしていますが、会派の部屋を決めさせていただきたいと思います。まず事務局の案を述べます。会派室7が創政会、6が至誠会、5日本共産党、4志民ネット、3公明党、2を空けて、1を無所属議員3名としました。会派室5は柱が出ていますので、他の部屋より若干狭いので2名の共産党を充てました。

○松本如美日本共産党代表

会派の部屋は固定壁ですか。会派7以外はほぼ同じ大きさですか。

○竹内事務局長

そうです。壁は防音壁になっていますので人数によって部屋のサイズを変更することはできません。

○伊東 英議長

今、事務局から案がでましたが、その通りでいいですか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○伊東 英議長

これでよろしくをお願いします。

○竹内事務局長

もう1点、会派のネット回線ですが、議会フロア全体にWi-Fiをつけようとするので、当局からセーフティの確保する為には金額がかかりすぎるとのことでしたので、つけません。各会派の部屋にWi-Fiが欲しい会派がありましたら、要望をしてほしいと思います。その費用を予算計上できるのかはまだわかりませんが、一旦意思表示をしていただきたいと思います。

○伊東 英議長

Wi-Fiの件ですが、議場と全協室、委員会室にはつきますが、各会派は防音壁で広範囲に飛ばないということで、会派別につけるのであれば要望をだしていただくということです。よろしくお願いします。いつまでに申し出ればいいですか。

○竹内事務局長

8月11日までをお願いします。

【5会派からWi-Fiの申し出あり】

○伊東 英議長

すべての会派必要と言うことでお願いします。

無所属会派も確認してください。

○竹内事務局長

さきほどの協議事項の中で協議を継続していくという結果になったものについて、今年度も会議を続けていくのか、改選後必要であれば継続して協議していくというものか。今年度も協議を続けていくなれば、次回の日程を調整していただきたいと思います。

○新美保博至誠会代表

政務活動費については継続といっても、議運にお願いして、議員勉強会を充実して、違う手だてを考えていくことが決まったので、代表者会議で協議することはないと思います。

任期についてはここで意見の一致をみないので、今期はこれで終わりだと思います。

○伊東 英議長

政務活動費については代表者会議での議論はこれで終わり、今後は議運に引き継ぐことになり、議員等の任期については意見の一致をみないということで協議はやめとなり、協議はこれで終わります。それでよろしいでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○伊東 英議長

それでは、本日予定していました協議題はすべて終了しましたので、これで各派代表者会議を閉会します。

閉会 午後3時02分